

2023年4月21日
西日本旅客鉄道株式会社

～駅のホームの安全性向上にむけて～ 兵庫駅の「ホーム安全スクリーン」を使用開始します。

JR西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

2023年4月1日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を加速してまいります。

(鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備については、別紙をご確認ください)

このたび、兵庫駅2番・3番のりばの「ホーム安全スクリーン」の使用開始日が決まりましたので、お知らせします。

設置箇所と使用開始日

設置箇所

兵庫駅

- ・2番のりば JR神戸線（三ノ宮・尼崎・大阪方面）
- ・3番のりば JR神戸線（西明石・姫路方面）

使用開始日

2023年4月28日（金）始発列車から^{※1}



(写真は福島駅)

※1 使用開始日は、工事の進捗状況により変更することがあります。

今回ご案内の取組みは、SDGs目標の9番、10番、11番に貢献するものと考えています。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

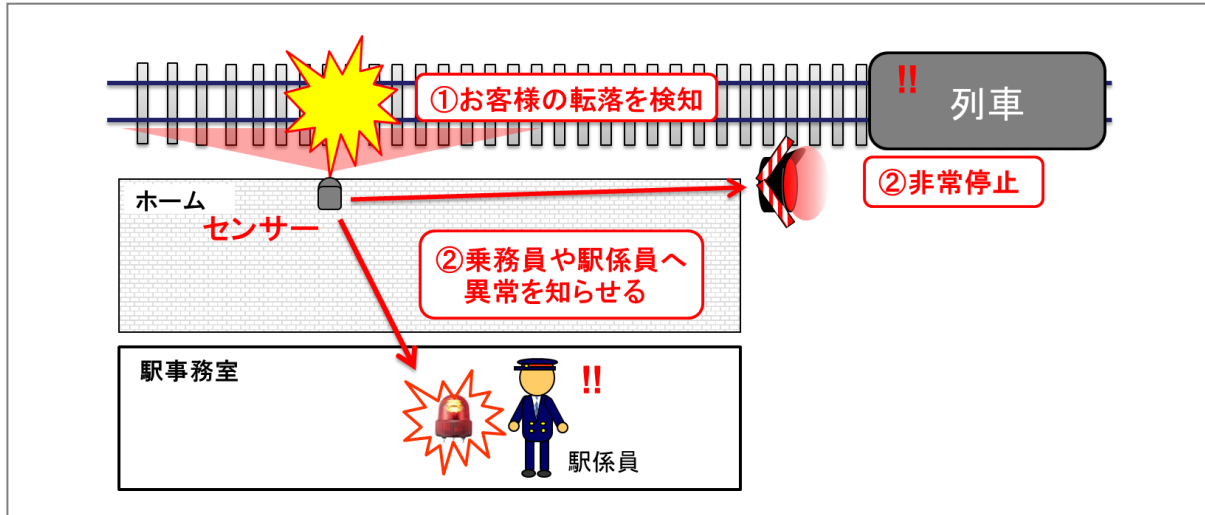
JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



[参考]

○「ホーム安全スクリーン」の概要

ホーム上の屋根等に取り付けたセンサーにより、お客様の転落を検知して速やかに列車を止めるシステムです。



○2023年度上期 ホーム安全スクリーン整備着手予定駅

茨木駅 1番・4番のりば

桜ノ宮駅 1番・2番のりば

兵庫駅 1番・4番のりば

天王寺駅 1～6番のりば

摂津富田駅 2番・3番のりば

新大阪駅 1～3番のりば

海老江駅 1番・2番のりば

元町駅 1番・2番のりば

芦屋駅 2番・3番のりば

(整備予定は変更することがあります。)

○ホーム安全スクリーン整備済み駅 (2023年3月末時点)

茨木駅 2番・3番のりば

放出駅 1～4番のりば

福島駅 1番・2番のりば

[別紙]

○鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備

鉄道駅バリアフリー料金制度は、都市部において鉄道をご利用になるお客様に広くご負担いただきバリアフリー化を進めていくことを目的に、2021年12月に国により創設された制度です。

JR西日本では、2023年4月1日から近畿エリアの一部エリア（図1）において料金を収受させていただき、バリアフリー設備（ホーム柵・ホーム安全スクリーン・エレベータ等）の整備を加速してまいります。

なお、ホーム柵・ホーム安全スクリーンの整備については、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の2027年度の到達目標として着実に進めることで、ホームからの転落による列車とお客様の接触事故の防止を図ってまいります。




可動式ホーム柵



昇降式ホーム柵



ホーム安全スクリーン

 2022年度から先行して整備を進めるエリア

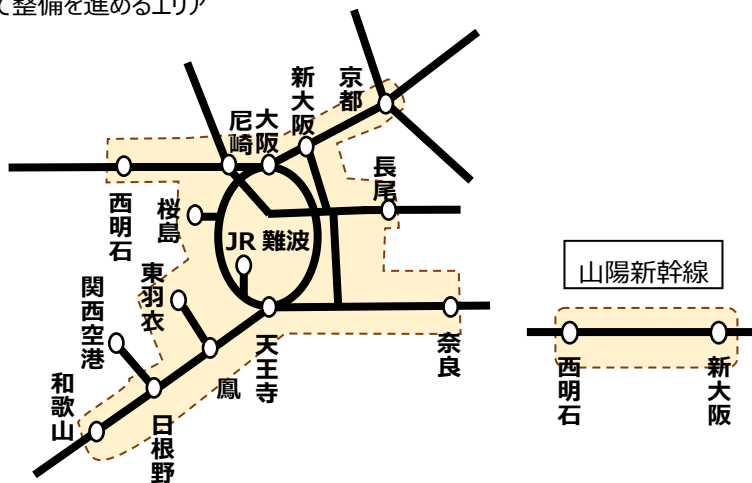


図1 整備対象エリア

※2022年8月19日ニュースリリース

https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html